

株式会社 小林洋行

証券コード：8742

第78期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

株主の皆様へ TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「第78期 株主通信」をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

第78期は、前半34年ぶりの円安水準に進行すると、日経平均株価は7月11日に42,426円77銭まで上昇し、史上最高値を更新しました。しかし一転ドル安・円高へ反転したことを皮切りに、米国景気の先行き不安が露呈されると、世界の株式市場が大幅に下落し、そこにパニック相場が重なったことで、8月5日の日経平均株価は、前週末比4,451円28銭安の過去最大の下げ幅を記録するなど、短期間で歴史的な乱高下を経験しました。2024年は日米を含む世界各国でトップや政権の交代が起きました。2025年に入り第2次トランプ政権が発足すると、米中の貿易摩擦が激化したことに加え、新たな関税措置が発表されたことを受け、投資家心理は安全資産としての金ヘシフトして先物金価格は15,000円を超えて最高値を更新しております。

2025年1月23日、当社の連結子会社であるフジトミ証券株式会社の保険募集事業を承継する会社分割として、新たに子会社（株式会社フジトミ）を設立いたしました。2025年4月1日より生命保険・損害保険の募集事業を行っております。

当社グループは、投資・金融サービス業（商品先物取引、くりっく365・くりっく株365等）、生活・環境事業（広告用電設資材卸売業、LED照明等の販売、生命保険・損害保険の募集等）、スポーツ施設提供業（ゴルフ場関連事業）、不動産業（不動産賃貸業、宅地建物取引業）、インターネット広告業（SEO対策、サイト制作、広告運用代行等）を営む各社より構成されております。

今後も厳しい環境が続くなかでセグメントごとの有事におけるリスクヘッジを加味しながら、経営資源の適切な配分に努め、安定した経営体制の確立に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年6月
代表取締役社長 細金 成光

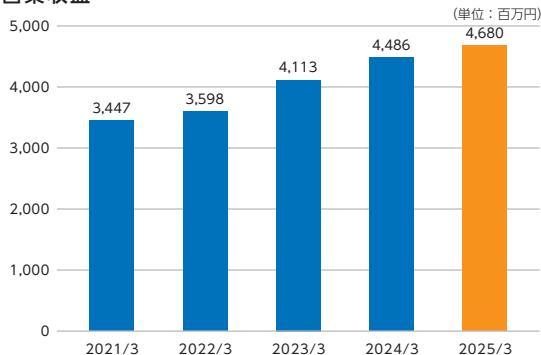
業績予想について

当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示しておりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がまとも次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

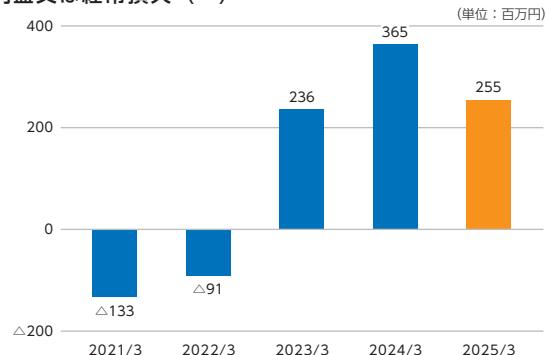
また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

連結業績の推移 Highlight

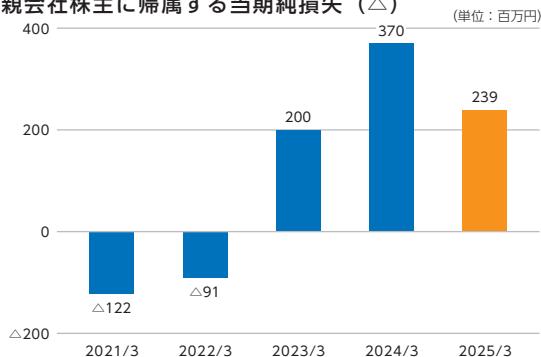
営業収益



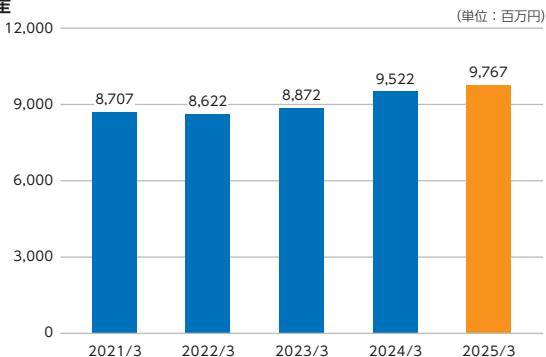
経常利益又は経常損失 (△)



親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)



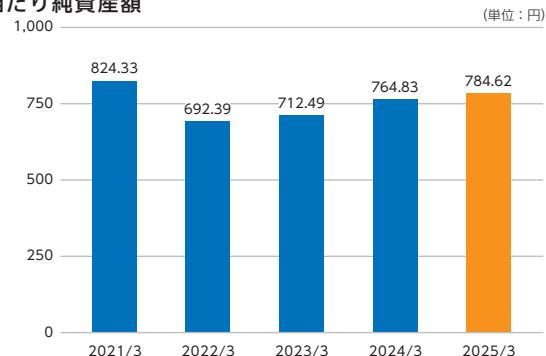
純資産



1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)



1株当たり純資産額



連結財務諸表

●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (2025年3月31日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	14,437	12,254
現金及び預金	2,918	2,891
保管有価証券	457	226
委託者先物取引差金	-	106
差入保証金	9,564	7,619
預託金	78	48
その他の現金	1,420	1,363
貸倒引当金	△ 0	△ 0
固定資産	6,440	6,215
有形固定資産	3,837	3,921
無形固定資産	141	126
投資その他の資産	2,462	2,166
資産合計	20,878	18,470
負債の部		
流動負債	10,381	8,271
預り証	4,461	2,789
受入保証金	4,811	4,837
その他の負債	1,108	644
固定負債	710	659
特別法上の準備金	18	16
負債合計	11,110	8,947
純資産の部		
株主資本	9,112	8,935
資本	2,000	2,000
資本剰余金	1,394	1,394
利益剰余金	5,789	5,612
自己株式	△ 71	△ 70
その他の包括利益累計額	655	586
その他有価証券評価差額金	655	586
純資産合計	9,767	9,522
負債・純資産合計	20,878	18,470

●連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	前期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
営業収益	4,680	4,486
営業総利益	3,182	3,073
営業費用	3,001	2,768
営業利益	181	305
営業外収益	75	60
営業外費用	1	0
経常利益	255	365
特別利益	58	37
特別損失	1	12
税金等調整前当期純利益	312	390
法人税、住民税及び事業税	63	84
法人税等調整額	9	△ 64
当期純利益	239	370
親会社株主に帰属する当期純利益	239	370

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	前期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	443	240
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 327	△ 342
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	36
IV. 現金及び現金同等物の増減額	23	△ 65
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,698	1,764
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	1,722	1,698

●業績の概要

2025年3月期において、投資・金融サービス業は、8月と3月の2度の相場暴落により、顧客からの預り資産の大幅な減少と、それに伴う手数料収入の減少がありましたが、イベント出展等による新規営業の強化により、顧客基盤の拡大と預り資産の回復に注力した結果、手数料収入、預り資産ともに、年間目標を達成しました。また、システム導入等による業務効率化のための社内管理体制整備を進めたほか、前年度から準備を進めてきた「くりっく365の自動売買サービス（シストレセレクト365）」の提供を2025年2月から開始しました。その結果、金融商品取引の受取手数料は1,560百万円、商品先物取引の受取手数料は382百万円となったため、投資・金融サービス業の受取手数料は1,942百万円となり、営業収益は2,045百万円となりました。

生活・環境事業の保険募集事業において、生保は保障を主たる目的とした変額保険の法人・富裕層提案を、損保は既存顧客の継続率維持や新規企業開拓を中心に注力したため、生保の大口契約及び自動車・火災保険の新規契約獲得等に繋がり、手数料収入は年間目標を達成しました。また、2025年4月の分社化・独立に向けて、新たな社内体制の整備を進めてまいりましたが、それに伴う諸経費が年間経費目標の超過要因となったものの、新会社の強固な体制構築に向けて一定の目的を達成することができました。その結果、募集手数料は327百万円となりました。また、広告用電設材卸売業では、売上高494百万円となり、LED照明等の販売事業の売上189百万円を加えた、生活・環境事業の営業収益は1,012百万円となりました。

スポーツ施設提供業において、当社が所有するゴルフ場（ゴルフデングロスカントリークラブ）では、行楽シーズンは、さまざまな娯楽への選択肢が増えるなか、集客に苦戦を強いられる結果となりましたが、前年と同様に記録的猛暑に見舞われた夏場は、ブレススタイルの多様化などが功を奏し、売上、来場者数とともに好調に推移しました。また、ハイシーズンや冬場においても比較的天候に恵まれたことから、期間を通して、売上、来場者数は前年を上回ることができました。その結果、売上高は493百万円となりました。

不動産業において、不動産賃貸では、当社グループが所有する賃貸用マンションの入居率は、引き続き高水準で推移しました。また、物件の長期維持管理と入居者の満足度向上を目的とした修繕及び設備更新に注力しました。ビジネスホテルにおいては、訪日外客数の累計が過去最多を記録するなど、インバウンド需要が活況するなかで、引き続き稼働率や宿泊単価は高水準で推移しました。また、不動産売買では、新築アパート等の大型物件の売却や計画より高値での売却など、販売用不動産の売却も順調に進んだ結果、年間目標を大きく上回る業績となりました。販売用不動産の仕入については、引き続きリフォーム費用を含めた価格の高騰という厳しい環境が続きましたが、主力の区分マンション以外にも視野を広げながら、慎重に物件を選別して購入を進めた結果、次年度の計画達成を見通せる水準まで在庫を確保できました。その結果、売上高は781百万円となりました。

インターネット広告業においては、動画広告需要の高まりやデジタルプロモーション市場の拡大など好調な事業環境が続くなか、アフィリエイト広告の運用代行やテレビコマースの受注に注力するなど、収益の確保に努めてまいりました。その結果、売上高は348百万円となりました。

これらの結果、営業収益は4,680百万円、営業総利益は3,182百万円となりました。一方、営業費用は3,001百万円と増加したため、営業利益は181百万円、経常利益は255百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は239百万円となりました。

投資・金融サービス業



フジトミ証券株式会社

FX・株価指数・商品取引なら、「フジトミ証券」で



フジトミ証券は、くりっく365・くりっく株365・商品先物取引に加え、2025年2月からくりっく365対応の自動売買サービス「シストレセレクト365」を開始。フジトミ証券では質の高い情報と取引環境を提供しています。初心者でも使いやすく、低コストで始められる点も魅力です。

※「くりっく365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所為替証拠金取引の愛称です。
※「くりっく株365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所株価指数証拠金取引の愛称です。

資料請求・口座開設
セミナー申し込みはこちら



くりっく365/くりっく株365
東京TEL 0120-365-686 大阪TEL 0120-365-605

商品先物取引オンライン TEL 0120-15-2413
商品先物取引コンサルティング TEL 0120-241-337

生活・環境事業



豊富な商品ラインナップより、
お客様のニーズに応える保険商品をご提案します。

個々のお客様の不安や心配、計画や希望をお伺いして問題点を整理し、ご家族のライフプランから法人のリスクヘッジまで、保険を使った最適な解決策をご一緒に考えます。



本社保険事業部 TEL 0120-27-2413

福岡営業所 TEL 0120-60-2960

熊本営業所 TEL 096-288-7162



広告用電設資材総合卸・LED照明環境の

総合プロデュースを通じて、快適な視空間を社会に提供します。

1975年の創業以来、多くのお客様に支えられ、数々の広告用電設資材のご提供を手がけてまいりました。2015年3月に、株式会社小林洋行の連結子会社となり、新たに小林洋行グループの一員として、従来の広告用電設資材総合卸に加え、省エネルギー対策や快適な視空間の確保のためのLED照明のご提案を展開しております。

本社 TEL 03-5999-3434 (代)
FAX 03-5999-3477

日本橋オフィス TEL 03-3669-7762
FAX 03-3669-3375

スポーツ施設提供業

(運営)

株式会社日本ゴルフ倶楽部

エバーグリーンの広大なステージ。
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとときを、
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。
フェアウェイ・ティーグラウンドに
寒地型芝草（ペレニアルグラス）をオーバーシーティングして、
年間を通じて鮮やかな緑の芝生でプレーができます。



ゴールドクロス C.C.

千葉県長生郡長南町市野々575

TEL : 0470-82-5211

<https://www.goldencrosscc.com/>

年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯

圏央道市原鶴舞ICより約7分。『ゴールドクロスカントリークラブ』



インターネット広告業

株式会社小林洋行コミュニケーションズ

当社は、Webサイトの企画・制作から広告運用まで、Webを活用した集客と販路拡大をワンストップで支援しています。
お客様のマーケティング活動をトータルでサポートし、集客力の強化とビジネスの成長に貢献いたします。



小林洋行コミュニケーションズ

**KOBAYASHIYOKO
COMMUNICATIONS**

東京本社 TEL : 03-3669-4282

不動産業

多様なアプローチから不動産活用を行っております。

当社グループでは、所有する不動産を賃貸し安定した収益を確保しております。
また、中長期的な安定収益の確保を目的とした賃貸物件等の取得、
及び、短期的な収益の獲得案件にバランス良く投資してまいります。

- ▶ 2013年1月～ ビジネスホテル（相鉄フレッサイン日本橋人形町）
- ▶ 2014年3月～ 賃貸マンション（ロイヤルコート日本橋人形町）
- ▶ 2015年3月～ 賃貸マンション（エリートタウン日本橋）

相鉄フレッサイン日本橋人形町
東京都中央区日本橋蛸殻町1-15-4
TEL : 03-5695-0203



株式の状況

2025年3月31日現在

会社概要

2025年3月31日現在

- **株式数** 発行可能株式総数 27,000,000株
発行済株式の総数 12,554,379株
- **株主数** 27,941名
- **大株主（上位10名）**

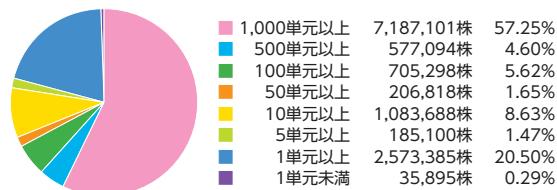
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社東京洋行	3,107	24.96
株式会社りそな銀行	600	4.82
共和証券株式会社	508	4.08
細金英光	390	3.14
内藤征吾	361	2.90
細金成光	318	2.56
トウヨウセキュリティーズ アジア リミテッド	309	2.48
いずも産業株式会社	204	1.64
立花証券株式会社	200	1.60
特定有価証券信託受託者 株式会社S M B C信託銀行	196	1.58

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示し、また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式（105,375株）を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況（1単元 100株）



- 商号 株式会社 小林洋行
 - 英訳名 KOBAYASHI YOKO CO.,LTD.
 - 本社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号
 - 設立 1949年（昭和24年）3月26日
 - 資本金 20億円
 - 主な事業内容 ・グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
・不動産賃貸業
 - 役員 代表取締役社長 細金成光
(2025年6月27日現在) 常務取締役 渡辺宏
取締役 瀧澤克行
取締役 細金英光
取締役（監査等委員）加藤周二
取締役（監査等委員）西田章
取締役（監査等委員）前田哲哉
- (注) 取締役（監査等委員）加藤周二氏、西田章氏及び前田哲哉氏は、社外取締役であります。

連結従業員数 144名

主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・三井住友信託銀行株式会社

小林洋行グループ フジトミ証券株式会社
(連結子会社) 株式会社フジトミ（2025年1月23日設立）
株式会社三新電業社
株式会社日本ゴルフ倶楽部
(ゴルフデンクロスカントリークラブ運営)
株式会社小林洋行コミュニケーションズ

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記URLより「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



▲こちらから
アクセス

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）

電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ
(<https://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<https://www.kobayashiyoko.com/>

株主優待制度

毎年3月31日^{注)}現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数 100株以上 1,000株未満 おこめ券 2枚
所有株数 1,000株以上 おこめ券 5枚

おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどをご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。



注) 1年以上継続保有の優待制度：2021年3月末日を基準日とする株主優待制度から毎年3月末日を基準日として、3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して記載または記録されていることといたします。株主優待は「定時株主総会決議ご通知」(6月末)に同封し発送させていただきます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。